



プレスリリース

2026年4月20日

マレリ、Auto China 2026 でパワートレイン進化を支える 駆動・熱マネジメント分野の最新技術を展示

新型 e トランスミッション冷却ポンプやフレックス・フューエル技術、HEV/EV 高効率化の要となる熱マネジメント技術を披露

自動車業界向けのグローバル・テクノロジー・パートナーであるマレリは、**Auto China 2026**（2026年4月24日から5月3日まで北京で開催）において「革新に根差し、世界中へ」をテーマに、駆動系および熱マネジメント分野の最新技術を展示します。これらの技術は、地域特性や多様な駆動方式に対応しながら、パワートレインの進化全体を通じて自動車メーカーを支援するマレリの取り組みを示すものです。

多様な駆動方式を支える新型 e トランスミッション冷却ポンプとフレックス・フューエル技術

マレリブースの大きな見どころの一つが、新開発の **e トランスミッション冷却ポンプ** です。本製品は、最新世代トランスミッション向けに、必要なタイミングで高精度なオイル冷却を行う先進システムで、市場の主要ベンチマークと比較して 30W の省電力化を実現しています。

本技術は、e アクスルおよび DHT（Dedicated Hybrid Transmission；専用のハイブリッド車両用トランスミッション）向けに最適化された、革新的なモジュール式トランスミッション制御ソリューションをベースとしており、**高効率（40%）、高い統合性、競争力のあるコスト** を特長としています。ブラシレス技術と電子制御を統合した柔軟な設計により、同一の基本モジュールでトランスミッション領域での複数展開も可能です。

業界トップクラスの動作効率によりエネルギー消費を抑え、電費と燃費、両方の向上に寄与します。また、機械的・電子的な環境双方との高い親和性を備え、車両への統合や認証にかかるコストを低減します。12V および 48V の両バリエーションを用意し、マレリのモジュール式スマート・アクチュエータ構想に基づく初の量産適用例であり、現行車両アーキテクチャおよび将来のマルチ電圧プラットフォームに幅広く適合します。

さらに、マレリは **フレックス・フューエル・システム** も展示します。本システムは、持続可能かつ高性能な 3 気筒・4 気筒エンジンへのニーズに対応し、バイオ燃料やエタノールの使用を可能にします。自動燃料判別機能により燃費と排出ガス性能を最適化し、燃料レールに内蔵されたヒーターが低温時も始動性を確保します。20 年以上にわたるフレックス・フューエル技術の実績を基に、環境負荷低減と高い柔軟性を提供し、各市場の要件に応じた設計・生産が可能です。

熱マネジメント：軽量化・柔軟性・高効率を実現する最適設計と小型化



マレリは駆動系技術に加え、グリーン・テクノロジーズ事業部からは、低炭素で安全かつ信頼性の高いモビリティを支える、車両の熱エネルギーおよび排気ガス管理の最適化のための最新技術を披露します。

Auto China 2026 では、**ハイブリッド車および電気自動車の熱効率を最大化**する熱マネジメント技術을展示します。電動化コンポーネントの高度な小型化により、質量と体積を削減しつつ、最適な熱性能を確保します。これにより、車両レベルでの消費電力低減とエネルギー利用効率の向上を実現し、航続距離の延長に貢献します。

なかでも、**高性能チラー**は、電動車両におけるバッテリーの熱マネジメント性能を大幅に向上させます。従来設計と比較して熱交換性能を高め、バッテリー温度制御とエネルギー効率を改善します。これを実現したのは、精妙な内部フィン構造と軽量設計で、コンパクト化と冷媒流量の均一化を両立しました。高速充電にも対応し、高いコスト競争力も特長です。

e アクスル用オイル・クーラーは、軽量かつ高効率な熱交換を実現するソリューションです。新設計の内部フィンによりコンパクト化と熱性能向上を達成するとともに、最適化されたディンプル構造によって水流速度を高めてデッド・ウォーター領域を低減し、冷却効率を向上させています。小型設計により、スペースと重量の削減、レイアウトの柔軟性、コスト・メリットを提供しつつ、厳しい性能要件も達成しています。

さらに、オール・アルミ製ラジエータも展示します。本製品はすでに市場投入されている電動パワートレイン向けの実績あるソリューションで、新エネルギー車（NEV）における効率的かつ信頼性の高いバッテリー冷却を実現します。コンパクトなアルミ構造はサイズと重量を低減し、高い熱交換性能と柔軟なレイアウト設計を可能にするとともに、コスト削減と冷却時間の短縮に貢献します。

なお、高性能チラー、e アクスル用オイル・クーラー、オール・アルミ製ラジエータはいずれもアルミ単一素材構造を採用しており、リサイクル性にも寄与します。

グローバル連携と地域力を融合した分散型開発モデル

これらの技術は、マレリの分散型開発モデルのもと、地域拠点とグローバルチームが緊密に連携して開発されました。このアプローチは開発スピードを速め、市場投入までの期間短縮を実現します。Auto China におけるテーマ「**革新に根差し、世界中へ**」が示す通り、強固な地域エンジニアリング、サプライチェーン、生産体制と、グローバルな連携を組み合わせることで、世界各地の顧客ニーズに応える設計・開発・調達・製造を可能にしています。

マレリは、2026年4月24日から5月3日まで、北京の中国国際展覽センター（NCIEC）にて開催される北京国際自動車展において、Hall **W2**、ブース番号 **W2B08** で、駆動系、熱マネジメントをはじめとする最新技術を展示します。



訳注：当文書は 2026 年 4 月 20 日に発表された英語版プレスリリースの翻訳です。プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。

マレリについて

マレリは自動車業界をリードするグローバルなモビリティ・テクノロジー・サプライヤーです。技術革新と卓越した製造において確固たる実績を持つ当社の使命は、お客様やパートナーとの協力を通じてモビリティの未来を変革し、より安全で環境に優しく、より良いコネクテッド・ワールドを創造することです。全世界に約 40,000 人の従業員を擁するマレリは、アジア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカに 150 以上の施設と研究開発センターを有しています。